

# Notice board

## 発刊予定と投稿原稿の募集

予定巻号	発刊予定年月	特集内容（予定）	投稿申込締切期日	原稿締切期日	募集要領掲載巻号
54(2)	3月	災害対応事例とその教訓	2016年4月15日	2016年7月31日	53(1)
54(3)	5月	—	—	—	—
54(4)	7月	地すべり研究・対策技術の海外展開	2016年8月31日	2016年11月30日	53(3)
54(5)	9月	—	—	—	—
54(6)	11月	積雪地域にみられる多様な地すべり現象	2016年12月15日	2017年3月31日	53(5)
55(1)	2018年1月	—	—	—	—
55(2)	3月	斜面の維持管理における計測技術とデータ利活用	2017年4月15日	2017年7月31日	54(1)
55(3)	5月	—	—	—	—
55(4)	7月	地すべり変動に影響を及ぼす地下水	2017年8月31日	2017年11月30日	54(3)
55(5)	9月	—	—	—	—
55(6)	11月	斜面災害の軽減に向けた社会科学的アプローチ	2017年12月15日	2018年3月31日	54(5)
56(1)	2019年1月	—	—	—	—
56(2)	3月	岩盤崩落・落石の評価と対策	2018年4月15日	2019年7月31日	55(1)
56(3)	5月	—	—	—	—
56(4)	7月	—	2018年8月31日	2019年11月30日	55(3)

\*一般投稿とシリーズ「空から見る日本の地すべり」、ニュース、フォーラムは随時募集しています。

### ■特集「岩盤崩壊・落石の評価と対策」の原稿募集

(公社)地すべり学会は、地すべり、斜面崩壊、土石流など、斜面変動を広く扱っています。その中で岩盤崩壊・落石は、発生の頻度が高く、人家や道路など保全対象の近傍で発生することが多いため、そのリスクを軽減することは、人命や財産をまもる上で重要といえます。

岩盤崩壊・落石の危険箇所を把握し、有効な対応策を講ずるための調査・検討は古くから行われてきました。近年になって、コンピュータや計測機器の機能・操作性、汎用化の向上にともない、調査手法および解析手法はめざましい進展をみせています。

そこで本特集では、岩盤崩壊・落石のおそれがある危険箇所の抽出、数値計算等による危険度評価、対策工の設計施工、モニタリングシステムや崩壊時期予測の事例など、岩盤崩壊・落石の評価と対策に関する幅広い原稿を募集します。

- 特集名：岩盤崩壊・落石の評価と対策  
Hazard assessment and countermeasure of rock slope failure/rock fall
- 公募原稿のテーマ例
  - ① 無人航空機（ドローン）やレーザ計測など最新の技術を活用した岩盤崩壊・落石危険箇所の抽出に関する事例
  - ② 数値シミュレーション等による定量的な危険度評価の事例
  - ③ 計器観測データ等を用いた崩壊時期の予測事例

- ④ 効果的・効率的なハード対策のために、対策範囲や工法を検討した事例
- ⑤ モニタリングにおける新技術の導入や管理基準値の検討事例
- ⑥ 実際に発生した崩壊の調査事例
- 募集原稿：技術報告、研究ノート、論文
- 発刊予定：56巻2号（2019年3月末頃発行）
- 投稿申込み：2018年4月15日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付
  - ・申込みアドレス：post@landslide-soc.org
  - ・メールの題名：特集号原稿申込（著者名）を記入
  - ・申込み項目：題名、著者名、所属、連絡先住所、電話、ファックス、メールアドレス、原稿種別、要旨（200字程度、添付ファイルとせず、本文に入れてください）
- 原稿執筆
  - ・執筆要項：執筆要領が掲載されている最新の学会誌または学会ホームページ掲載の執筆要領
  - ・原稿締切：2018年7月31日
  - ・原稿送付先：post@landslide-soc.org

なお、投稿いただいた原稿は通常号の原稿と同様に査読を行います。したがって、内容によっては通常号への掲載をお願いし、または掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。